

平成 19 年度 グループ・プロジェクト研究計画書

(フリガナ) 氏 名	(フクオカ ミヤコ) 福岡 美弥子 (グループ代表)	研究科 センター等	知識科学研究科
		講座名	複雑系解析論講座
		指導教員	緒方 三郎
研究課題	石川県の伝統工芸の歴史・文化に関する基礎調査		
研究目的	石川県は有数の伝統工芸産地であり、36業種の伝統工芸産業を擁しているが、生産額は年々縮小しており、産地の存続が危惧される事態に進展している。そこで、石川県の伝統工芸のうち、主に山中漆器（山中温泉）九谷焼（加賀市、能美市）を対象に産地形成の歴史や文化との関わりを調査し、今後の産地振興に資する検討を行う。		
研究方法	1) 調査対象となる現地での文献収集、文献調査 2) 自治体、業界関係者への面接調査		
研究の特色・意義	本調査研究では、主に山中漆器と九谷焼に関する文献調査等を行い、歴史、文化、環境といった多面的な視点から伝統工芸を捉えなおし、グループのメンバーによる討議を実施しながら、副テーマ論文を作成するものである。		
期待される成果	石川県の伝統工芸産地の振興に資する具体的な成果（例：市場予測、原材料調達方法の評価・可能性、新市場の検討など）が期待される。		
備考	メンバー：福岡美弥子、劉祖宏、鄧蜀、宋麗、範海平、李慶鵬、計6名		